講座でやりたいAI活用（詳細）

1）受講生の質問に“根拠付き”で答えるチャット

やりたいこと

- 受講生の質問に対して、講座内の「教材」「ルール」「過去Q&A」から該当ページを探して回答する。
- 回答には必ず「参照元リンク（Notionページ／会員記事URL）」を付ける。

こういう動きを想定

- 受講生：「特別費ってどう管理しますか？」
- チャット：
    1. 結論（おすすめのやり方）
    2. 手順（最短でやるなら）
    3. 注意点（よくあるミス）
    4. 参照リンク（教材ページURLを1〜3件）

狙い

- うろ覚え、雰囲気回答、一般論でのズレを減らし、案内の品質を一定化したい。

2）答えられなかった質問を自動で集めて、教材を増やす仕組み

やりたいこと

- チャットが答えられない（根拠が見つからない／自信がない）質問だけを、Notionなどの「未回答リスト」に自動で貯める。
- あとから私が一言で回答し、AIが読みやすく整形してQ&Aとして保存。重要なら教材ページに昇格。

こういう運用の流れ

1. 受講生が質問
2. チャットが根拠を探す
3. 見つからなければ「未回答」に登録（質問文・日付・カテゴリ・状況など）
4. 私が短く回答（または教材を追記）
5. AIがQ&A形式に整える
6. Q&A DBに保存 → 必要なら教材に反映

狙い

- 質問が増えるほど教材が増え、運営がラクになる循環を作る。

3）状況を聞いてから“その人に合う手順”を出す（簡易診断）

やりたいこと

- 家計管理は状況によって正解が変わるので、最初に数問だけ聞いて「その人に合う手順ページ」を案内したい。

想定する質問例（選択式でも**OK**）

- 収入：会社員／フリーランス／副業あり
- 家族：独身／夫婦／子あり
- 借入：住宅ローンあり／なし／カード残債あり
- ツール：Zaim／マネーフォワード／手書き／未導入
- 悩み：赤字／貯金できない／使途不明金／特別費で崩れる など

出したい結果

- Aタイプの人は「口座設計→特別費→月次振り返り」
- Bタイプの人は「支出分類→固定費→予算」
  みたいに、最短ルートの案内ができる状態。

4）提出物のチェック（家計の設計・ルールの添削）

やりたいこと

- 受講生が作った「口座ルール」「特別費表」「支出の分類」を貼ると、
- 私が普段見ている基準に沿って、改善点・抜け漏れ・危ないポイントを指摘してほしい。

例：出したいチェック項目

- 口座ルール：入金日／振替タイミング／例外時の処理／誰が管理するか
- 特別費表：漏れてる項目／金額が現実的か／積立方法
- 支出分類：迷いがちな項目（交際費、サブスク、家族費など）の整理

狙い

- 私は最終判断・重要な論点に集中し、添削の一次処理を軽くしたい。

5）過去の相談事例から、似たケースを引いて提案する

やりたいこと

- 過去の相談内容を個人が特定されない形で「事例」として貯める。
- 新しい質問が来たら、似たケースを探して「対応のたたき台（提案の下書き）」を出したい。

事例に残したい項目（例）

- 状況（家族/収入/借入/ツール）
- 問題（何が詰まっていたか）
- 提案（何をどう変えたか）
- 結果（どう改善したか）
- 注意点（同じ落とし穴）

狙い

- 教材（一般形）だけでなく、現場の経験（具体例）を回答に混ぜて説得力を上げたい。

6）SNS/YouTube/LINEのネタ出しを自動化（ネタ切れ防止）

やりたいこと

- 知識ベースから「投稿ネタ」を自動で掘り出して、シリーズ案や投稿の骨組みを作りたい。

作りたいもの

- よくある誤解ランキング（例：NISAを“買う商品”だと思ってる等）
- つまずきパターン別（初心者／中級者）
- 季節ネタ（確定申告、住民税、ボーナス、年末調整）
- よくある質問から「ショート動画の台本案」や「X投稿の連投案」

狙い

- その場の思いつきではなく、講座で実際に多い悩みから、安定して量産したい。

7）SNS向けの図解を作れるようにしたい

やりたいこと

- 正しい定義や手順を元に、図解の「元データ」を作る。
- 画像化もOKだが、まずは使い回ししやすい“テキストの図”でもよい。

作りたい図解例

- 支出分類（消費・浪費・投資）の判断フロー
- 特別費の流れ（抽出→年額→月割→積立→使う）
- 口座の役割分担（入金→生活費→積立→予備費）

- ツール別の運用手順（Zaim/MF/Notion）

狙い

- 図解のベースを作って、SNSや講座資料に再利用したい。

8）教材の古さ・矛盾を見つけて、見直し候補を出す

やりたいこと

- 各ページに「最終確認日」や「参考にした元情報」を持たせる。
- 一定期間が過ぎたら「見直し候補」として一覧に上がるようにしたい。

狙い

- 税制・制度・サービス仕様は変わるので、古い情報の放置を防ぎたい。
  （事故防止＋信頼維持）

9）次に見るべき教材をおすすめする（回遊導線）

やりたいこと

- 受講生の質問や進捗に応じて「次に見る教材」を提案したい。

例

- 「特別費が難しい」→「特別費表の作り方」→「口座積立のルール」
- 「家計簿が続かない」→「入力を減らす運用」→「月1レビュー」

狙い

- 会員サイト内で迷子を減らし、学習の継続と成果につなげたい。

10）運営の案内対応を自動化（迷子対応）

やりたいこと

- 「どこ見ればいい？」「どれからやる？」みたいな問い合わせをチャットが処理。
- 教材マップ、該当ページ、次アクションまで案内したい。

狙い

- 運営工数が大きい“案内対応”を減らす。

希望する出力の形（重要）

1）必ず根拠を示す

- 回答には、必ず参照元リンク（Notionページ／会員記事URL等）を付けたい。
- 根拠が見つからない／判断が難しい場合は、無理に答えず未回答へ。

2）知識は3種類に分けて整理したい

- 根拠の元：外部ソース、参考にした情報
- 講座の教材：自分の教材、ルール、テンプレ
- 運用の記録：Q&A、相談ケース、改善履歴